

## 横浜港埠頭株式会社 環境方針

わたしたち横浜港埠頭株式会社は、持続可能な社会の実現に向けて、環境保護・気候変動対策を重要な経営課題と位置づけ、これまでも継続的に取り組んできました。

本方針は、これらの取組をさらに促進するため、環境に配慮した経営の推進、人材の育成、新技術の導入、ステークホルダーとの対話、グリーンサプライチェーン構築への貢献など、多様なアプローチを明文化したものです。

本方針のもと、環境課題への積極的な取組を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

### 横浜港埠頭株式会社 環境方針

わたしたちは、港湾の管理・運営を担う企業として、環境への責任を果たすとともに、以下の方針に基づき、ステークホルダーと連携して環境課題に積極的に取り組みます。

#### 1 推進体制

取締役会での決議に基づき、経営陣のリーダーシップのもと、環境保全に関する目標を設定し、地球環境の保全を推進します。

#### 2 法令遵守・ガバナンス

環境関連の法令、条例、規制及び社会規範の他、社内規程を遵守します。

#### 3 環境課題への対応

事業活動を通じて、気候変動への適応を含む自然災害への備え、温室効果ガス排出量削減、自然環境及び生物多様性の保全に取り組みます。

特に、以下の取組を重点的に推進します。

- ① 気候変動への適応を含む自然災害への備えとして、ハード・ソフト両面からレジリエンスの強化を推進します。
- ② 温室効果ガス排出量の削減を徹底し、カーボンニュートラルポート（CNP）の形成を推進するとともに、グリーンサプライチェーンの構築に貢献します。
- ③ 自然環境および生物多様性の保全に努め、施設整備や管理運営における安全性・環境配慮の徹底、新技術・新素材の積極的導入、ならびにサーキュラーエコノミーの実践を通じて、環境負荷の最小化を図ります。

#### 4 社員教育と啓発・情報発信

社員一人ひとりが環境方針を理解し、実践できるよう、研修や社内啓発活動を継続的に実施します。あわせて、ホームページ等を通じて、本方針および取組状況を広く社会に公開します。

#### 5 ステークホルダーとの連携

横浜港の利用者、港湾管理者などの行政機関、パートナー企業、地域社会との対話と協働を推進し、共創による環境価値の創出を目指します。あわせて、積極的な情報発信と普及啓発活動にも取り組みます。

#### 6 継続的改善と評価

本方針に基づき環境目標を設定し、毎年度の実績を評価・検証しながら、継続的な改善を図ります。

本方針は、令和8年3月9日開催の取締役会において承認され、令和8年4月1日より適用します。

令和8年4月1日  
横浜港埠頭株式会社  
代表取締役社長 植松 久尚